

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 湯沢市前森一丁目2-6
名称 株式会社 日敷
代表者 代表取締役 小田原豊博

株式会社 日敷

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

「地域社会の未来」、「地球の未来」、「多様性のある未来」を3つのテーマとし、「小売業としての地域社会のライフライン」「地域社会への貢献」「CO2、電気・燃料・水道の使用量の削減」「廃棄物の削減」「人材の活躍支援・研修制度の充実」に取り組んで参ります。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R4年1月17日</small>	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
☑経済 ☑社会 □環境	地域社会の「ライフライン」としての災害時の基盤整備 地域社会への貢献	地方自治体との災害物資協定等を進めるとともに、店舗として防災用品の提案・啓蒙活動を推進する。 地域の教育施設や地域文化活動の支援を継続する。	・湯沢市と「災害時における物資の供給に関する協定」を締結(12月)。 ・インターハイ出場寄付3件、地域行事参加1件、地域行事協賛5件。	4 11
□経済 □社会 ☑環境	Co2 削減 3R (リデュース・リユース・リサイクル)、食品ロス削減の推進	電気・燃料・水の使用量削減を図る。 廃棄物削減・修理サービス・リサイクル品回収の強化、食品ロス削減への取組を行う。	・使用量前年比、電気 96.1%、ガス 89.7%、水道 83.7%。 ・食品売場に、食品廃棄ロス削減に関する POP を設置。	7 12 13
□経済 ☑社会 □環境	魅力ある会社創り	多様な人材の活躍支援や福利厚生、社内外の研修制度の充実を図る。	・仕事と家庭の両立に関する相談窓口を設置。 ・研修の実施(社内9回、社外3回) ・通信教育プログラムに基づく実施(18名)	3 8

【記載留意点】

- ・この宣言書は、県 Web サイトで公開します。
- ・「SDGs 達成に向けた取組方針等」を記載いただくとともに、原則として「経済」・「社会」・「環境」の3側面の全てについて「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。なお、3側面について、取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野にチェック☑してください。
- ・「2030 年に向けた指標」は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「重点的な取組及び指標の進捗状況」は、年 1 回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。なお、初回登録時は記入不要です。
- ・取組の例として、別紙「基本的取組事項の例」を適宜参照ください。
- ・記載した取組と関係が深いSDGsのゴールを以下の表から選択し、「関連する主なSDGsゴール」にゴール番号を記載してください（複数選択可、最大3つ）。

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	